

苫小牧市立清水小学校学校だより

# 清水の子



『未来を創造する  
清水の子の育成』

◇学びを広げる子  
◇思いやりあふれる子  
◇たくましさみなぎる子

第2号 令和2年5月15日発行

TEL 33-7285  
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

## 伸ばそう「あたま」「こころ」「からだ」



校長 堀田 稔

子ども達がそれぞれ一つ上の学年に進み、新しく40名の1年生を迎えた新年度の「はじまりの月」が臨時休校の中、過ぎていきました。

入学式では、皆様にご来校いただき「あたたかい」まなざしとお祝いのお声かけをいただきましたかったところでしたが、新型コロナウイルス拡散防止のため、多くの我慢をいただいていること、そして、多くのご協力をいただいていますことに心より感謝申し上げます。

清水小学校では今年も「あたま」「こころ」「からだ」を学校の重点に「生きて働く力」を育成していこうと考えています。臨時休校で、先がまだ見えない中ですが、4月当初に登校していた時の子ども達は

### ○「あたま」

授業中に各教室にお邪魔して子ども達の学習の様子を見させてもらいましたが、清水の子は、姿勢正しく座り、先生方の話に耳を傾け、課題等に取り組み、ノートも工夫して取りながら学習に臨む姿勢が多くみられ、素晴らしさを感じていました。

### ○「こころ」

朝、校門前に立っていると、あいさつする時に立ち止まり、会釈をする子、元気いっぱいあいさつする子、低学年の手を引いて登校する子など、心の優しさを感じるとともに、ほほえましい光景が多くみられました。

### ○「からだ」

休み時間は、外で走り回ったり、体育の時にはテキパキと動いたりする様子が見られます。また、マスクもしっかりつけ、手洗いや消毒、換気を行っています。

### ◎今の気持ちを大切に

「はじまりの月」子ども達は教室の場所が変わったり、担任が代わったりと多くの「変化」の中、わくわくした「期待」と新しいことへの「希望」とを持ちながら進級・入学しました。そして、いつもと違う緊張と不安の中、日々頑張っていて過ごしていました。この初心を持ち続けることが、より「あたま」「こころ」「からだ」を伸ばし、自分を高めていくことと密接にかかわっていると考えています。今後も大切に育んでいきたいと考えています。

学期のはじめは子ども達と担任や教職員が信頼関係、人間関係を築きあげる大切な時期でもあります。また、保護者・地域の皆様との「あたたかい」つながりが、子ども達の成長にはとても重要だと考えています。お会いし、心を触れ合いながら教育活動を進めている気持ちで、今の時期を教職員一同、精一杯頑張り、子ども達、保護者の皆様、地域の皆様と共に乗り越えていきたいと思っています。令和2年度も清水小学校の教育活動にご理解、ご支援、ご参画を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。